

(社) 日本原子力学会標準委員会システム安全専門部会
第24回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日 時 2015年5月11日 (月) 13:30~16:00

2. 場 所 (一社)原子力安全推進協会 第1, 2会議室

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 勝村 (主査)、内田 (副主査)、北島 (幹事)、水野、岡田、寺地、篠原、
高木、莊田、大橋、久宗、中野、長谷川、河合 (14名)

(代理出席委員) 笠原(西山代理) (1名)

(委員候補) 河村 (1名)

(常時参加者) 都筑、西村、武田、真鍋、高橋、小野寺 (6名)

(常時参加者候補) 平野、中野^(街) (2名)

(オブザーバー) 中山、相澤 (2名)

4. 配付資料

【P11SC24-0】 第24回水化学管理分科会議事次第

【P11SC24-1】 人事について

【P11SC24-2】 第23回水化学管理分科会議事録(案)

【P11SC24-3】 PWR分析標準の投票結果について

【P11SC24-4-1】 第31回システム安全専門部会議事録(案)

【P11SC24-4-2】 第60回標準委員会議事録(案)

【P11SC24-4-3】 システム安全専門部会コメント対応表

【P11SC24-4-4】 標準委員会コメント対応表

【P11SC24-4-5】 BWR水化学管理指針 (本報告)

【P11SC24-4-6】 PWR水化学管理指針 (本報告)

【P11SC24-4-7】 BWR水化学管理指針及びPWR水化学管理指針 (本報告概要)

【P11SC24-5】 今後の水化学関連標準の策定に関する検討の進め方について

【P11SC24-6】 水化学管理分科会の今後の予定について

【P11SC24-参考1】 水化学管理分科会委員及び常時参加者一覧表

【P11SC24-参考2】 水化学管理指針策定スケジュール

【P11SC24-参考3】 BWR水化学管理指針 (コメント修正版)

【P11SC24-参考4】 PWR水化学管理指針 (コメント修正版)

5. 議事

(1) 開会のあいさつ

勝村委員長より開会のあいさつがあり、山場は越えているものの今後のコメント対応

に向け、もう一段注力して頂きたい旨の要請があった。

(2) 人事について

資料P11SC24-1に従って、水化学管理分科会委員、常時参加者の退任、選任、等が報告され、満場一致で承認された。また、BWR/PWR水化学管理指針作業会の委員、常時参加者の退任、選任についても報告がなされた。

(3) 前回議事録の確認について

資料P11SC24-2に従って、前回議事録が読み上げられ、承認された。

(4) PWR分析標準の改定要否に関する投票結果について

資料P11SC24-3に従って、システム安全専門部会におけるPWR分析標準の改訂要否に関する投票結果として、委員総数19名中17名の投票があり、改訂不要の検討結果につき全員賛成にて可決されたことが報告された。

(5) 標準委員会中間報告時のコメント対応について

資料P11SC24-4-1～6に従って、システム安全専門部会および標準委員会における「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」および「加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」の中間報告結果およびコメント対応につき報告がなされた。コメントについてはすでに修正がなされたことを確認し、一同了承した。さらに、資料P11SC24-4-7に従って、次回標準委員会での本報告（概要）につき討議した。

その結果、岡田委員より、P.25、P.32のM.O.Speidel(1978)の文献は、シンポジウムのプロシーディングではなく雑誌を引用できないかとのコメントが出された。

⇒再度検討するが、雑誌への掲載はなかったものと思われる。

また、内田委員より、P.12、P.13の目次構成は、廃棄物低減、改良水化学技術に関してPWRには記載があるがBWRには記載がなく、整合が取られていないとのコメントが出された。

⇒PWRの廃棄物低減については、水化学管理の最適化に含めることとし、BWRと整合を取る方針で作業会で検討することとした。また、BWRの改良水化学はすでに適用済みの技術が中心であり材料健全性、燃料健全性、被ばく低減の各章にて取り扱われていることから、このままとする。

なお、PWRでSCCの発生に係る低高温のしきい温度である82℃について、米国での温度設定の変遷のNRC等公開文献の有無に関するコメントに対し、公開文献が無い旨の調査結果が報告され、了承された。

(6) 水化学管理関連標準の検討の進め方について

資料P11SC24-5に従って、今後の検討の進め方が事務局より提案された。今後、BWR

は化学分析標準を作成して行く。一方、PWRは二次系の水化学管理指針の標準を作成して行く。

いずれの作業会も、現在のBWR/PWR水化学管理指針作業会メンバーで担うものとする。ただし、常時参加者の枠を活用し、積極的に若手を登用して行くことが望ましいとの意見が出された。スケジュールは、立ち上げ後は月1回程度で半年間程度活動することを想定する。

(7) 水化学管理分科会の今後の予定について

現在の水化学管理指針は、今後、8月、11月、来年2月まで議論することとし、3月の制定を目指すこととする。

6. 今後の予定

今回は、2015年8月25日(火) 13:30～とする。

以 上